

使用許諾契約書

プリント拡張 PCI カード - A1/B1 をご使用になる前に、下記の使用条件をよくお読み下さい。ご使用になられた時点で、下記使用条件に同意してキヤノン株式会社（以下キヤノンといいます。）との間で契約が成立したものとさせていただきます。

1. プリント拡張 PCI カード - A1/B1 およびその複製物に関する権利はその内容によりキヤノンまたはキヤノンのライセンサーに帰属します。
2. キヤノンは、プリント拡張 PCI カード - A1/B1 のユーザー（以下ユーザーといいます。）に対し、プリント拡張 PCI カード - A1/B1 に対応するキヤノン製品を利用する目的でプリント拡張 PCI カード - A1/B1 を使用する非独占的権利を許諾します。
3. ユーザーは、プリント拡張 PCI カード - A1/B1 の全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。
4. キヤノン、キヤノン販売株式会社およびキヤノンのライセンサーは、プリント拡張 PCI カード - A1/B1 がユーザーの特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、またはプリント拡張 PCI カード - A1/B1 に瑕疵がないこと、その他プリント拡張 PCI カード - A1/B1 に関していかなる保証もいたしません。
5. キヤノン、キヤノン販売株式会社およびキヤノンのライセンサーは、プリント拡張 PCI カード - A1/B1 の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負いません。
6. ユーザーは、日本国政府または該当国の政府より必要な許可等を得ることなしに、プリント拡張 PCI カード - A1/B1 の全部または一部を、直接または間接に輸出してはなりません。

本書について

本書には、プリント拡張 PCI カード - A1/B1 for Microsoft® Windows® 95/98, Windows NT® 4.0 and Microsoft® Windows® 2000 を使った印刷システムのインストール時や使用時に必要な情報が記載されています。



プリント拡張 PCI カード - A1/B1 for Windows 95/98, Windows NT 4.0 and Windows 2000 のインストール時および使用時のヒントや制限、制約条件などがキヤノンカラーレーザークォピー (CLC) 用プリンタドライバに添付されている README.TXT ファイルに記載されています。README.TXT ファイルの情報が本書の内容と異なる場合は、README.TXT ファイルに従ってください。

印刷システムについてわからないことがあれば、ソフトウェアに添付されているヘルプからさらに情報を得ることができます。ダイアログボックスの右上隅に **?** ボタンがある場合は、**?** ボタンをクリックしてからダイアログボックス上の知りたい項目をクリックするとヘルプが表示されます。

注意

本書の内容は予告なしに変更することがあります。キヤノン株式会社は、この資料に関して、明確にも暗示的にも、中に含まれていることを除き、市場性についての保証、特定の目的や使用方法、特許権の侵害などを含め、またそれらに限定されることなく、いかなる保証もいたしません。キヤノン株式会社はこの資料を使用した結果生じる、どのような直接的、付随的、間接的損害、また利益の損失に対しても責任は負いません。

この資料は著作権によって保護されている情報が含まれています。すべての権利は保有されています。事前にキヤノン株式会社の書面での許可なく、本書のいかなる部分も撮影、複製、他言語への翻訳はできません。

Copyright © 1999-2000 Canon Information Systems Research Australia Pty Ltd.

Copyright © 1999-2000 Canon Inc.

商標について

Microsoft、Windows および Windows NT は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の会社名や製品名は、各社の商標および登録商標です。

目次

目次	iii
はじめに	v
プリント拡張 PCI カード - A1/B1 について	v
使用できる用紙のサイズと種類	v
使用できるフォント	vi
解像度	vii
説明書について	vii
本書の使いかた	viii
ヘルプの使いかた	viii
システム条件	ix
エラーの処理	ix
第 1 章 - プリンタドライバのインストール	1
Windows 95/98 でのインストール方法	1
Windows NT 4.0 でのインストール方法	4
Windows 2000 でのインストール方法	6
第 2 章 - 印刷システムの使用	9
アプリケーションソフトからの印刷	9
[用紙] シート	10
正しい用紙設定と給紙方法を選択する	12
OHP フィルムに印刷する	13
手差しトレイを使う	13
手差しトレイによる両面印刷	14
複数部数を印刷する	16
用紙指定変倍とは	16
[仕上げ] シート	18
出力位置を細かく指定する	20
両面印刷を逆順で実行する	20
印刷ページの余白を設定する	20
[レイアウト] シート	22

[グラフィックス] シート	24
[カラーモード] を選択する	25
カラーマッチングを使用する	26
印刷出力のカラーバランスを調整する	27
[文字 / 写真優先] を指定する	27
モニタに表示される色と印刷結果の色を合わせる	27
[フォント] シート	28
ヒントとアドバイス	29
印刷速度を速くするには	29
トラブルシューティング	30
Appendix A - 別のインストール方法	33
Windows 95/98 の場合	33
Windows NT 4.0 の場合	35
Windows 2000 の場合	37
索引	39

はじめに

このユーザ用ガイドは、プリント拡張 PCI カード - A1/B1 プリンタドライバをインストールして使用方法について説明しています。

プリント拡張 PCI カード - A1/B1 について

プリント拡張 PCI カード - A1/B1 を使うと、Microsoft® Windows® 95/98 または Microsoft® Windows NT® Version 4.0、Microsoft® Windows® 2000 で動作するアプリケーションソフトからキヤノンカラーレーザーコピー (CLC) による高品質のフルカラー印刷が行えます。カラーレーザーコピーがネットワークに接続されているときは、ネットワーク上の PC から印刷を行うことができます。詳細は ix ページの「システム条件」を参照してください。

使用できる用紙のサイズと種類

プリント拡張 PCI カードを使って印刷できる用紙のサイズは次のとおりです。

- ◆ A3
 - ◆ B4 (JIS、257 mm × 364 mm)
 - ◆ A4、A4R
 - ◆ B5、B5R (JIS、257 mm × 182 mm)
 - ◆ 11 × 17
 - ◆ リーガル
 - ◆ レター、レター R
 - ◆ 12 × 18 (CLC1130、CLC1150 で手差しトレイからのみ印刷可)
 - ◆ はがき (CLC1130、CLC1150 で手差しトレイからのみ印刷可)
- 詳細はカラーレーザーコピーの取扱説明書を参照してください。

プリント拡張 PCI カードを使って印刷できる用紙の種類は次のとおりです。

- ◆ 普通紙、80 ～ 105 g/m²
- ◆ 厚紙、106 ～ 163 g/m²
- ◆ OHP フィルム (A4、レターのみ)
- ◆ 最厚口、164 ～ 209 g/m²
- ◆ 特殊紙 1 (コート紙)
- ◆ 特殊紙 2 (フィルム)
- ◆ 薄紙、64 ～ 79 g/m²

印刷できる用紙の種類と給紙元の制限事項については、10 ページの「[用紙]シート」を参照してください。

使用できるフォント

プリント拡張 PCI カード - A1/B1 プリンタドライバは、TrueType™ フォントのみをサポートしています。このフォントは、サーバー PC とクライアント PC の両方に正しくインストールされている必要があります。インストールされていないフォントを印刷すると、そのフォントに近い別のフォントに置き換えられます。置き換えられるフォントについては、『プリント拡張 PCI カード - A1/B1 管理者用ガイド』の「Appendix A」を参照してください。

Windows NT 4.0、Windows 95/98、Windows® 2000 のいずれをお使いかに
よってプリント拡張 PCI カード - A1/B1 プリンタドライバによる
Adobe® Type Manager (ATM®) PostScript® Type 1 フォントの処理のしか
たが異なります。

Windows NT 4.0 では、プリント拡張 PCI カード - A1/B1 によって ATM
フォントが印刷ジョブに埋め込まれます。このため、フォントがサー
バー PC にインストールされている必要はありません。

Windows 95/98 では、ATM フォントがプリント拡張 PCI カード - A1/
B1 によって、グラフィックスとして扱われるか、TrueType フォント
に置き換えられて印刷されます。31 ページの「フォント」を参照して
ください。

Windows 2000 では、Type 1 フォントをサポートするための ATM は必
要ありません。

サーバー PC にインストールされていない、サポートされていないフォントは、多くの方法でエンコードされます。フォントのエンコーディング方法は選択できます。詳細は『プリント拡張 PCI カード - A1/B1 管理者用ガイド』の「Appendix A - テキスト、タイプセット、フォント」を参照してください。

解像度

プリント拡張 PCI カード - A1/B1 は、解像度 400 dpi (dots per inch)、24 ビットのフルカラーでイメージを印刷します。

説明書について

プリント拡張 PCI カード - A1/B1 には、次のような説明書が用意されています。

- ◆ プリント拡張 PCI カード - A1/B1 ユーザ用ガイド (本書): クライアント PC にプリント拡張 PCI カード - A1/B1 プリンタドライバをインストールする手順や、プリント拡張 PCI カード - A1/B1 プリンタドライバを使った印刷方法について説明しています。
- ◆ プリント拡張 PCI カード - A1/B1 管理者用ガイド: プリントサーバー PC にプリント拡張 PCI カード - A1/B1 のハードウェアとソフトウェアをインストールする方法について説明しています。詳細なトラブルシューティングについても記載されています。
- ◆ ヘルプ: 印刷のためのさまざまな設定を行うときにすぐに役立つヘルプがプリンタドライバに用意されています。

本書の使いかた

本書は次のような場合にお読みください。

- ◆ PC に プリント拡張 PCI カード - A1/B1 プリンタドライバをインストールするとき。
- ◆ 印刷に関する正しい設定方法を知りたいとき。
- ◆ 速く印刷するヒントや、問題を解決するためのヒントが必要なとき。

本書を読む前に、『プリント拡張 PCI カード - A1/B1 管理者用ガイド』の順に従って、プリント拡張 PCI カード - A1/B1 のハードウェアとソフトウェアがプリントサーバー PC にインストールされていること、カラーレーザーコピーが正しくセットアップされていることを管理者に確認してください。

ヘルプの使いかた

プリント拡張 PCI カード - A1/B1 プリンタドライバには、状況に応じた詳細なヘルプが用意されています。

表示されているプロパティシートの全般的なヘルプを表示させるには、[ヘルプ] ボタンをクリックします。ここで表示されるヘルプトピックでは、プロパティシート全体の説明や、そのプロパティシートの設定が他のプロパティシートの関連する設定に与える影響などについて説明しています。

また、下図の参照ボタンを使うと前後のヘルプトピックを表示させることができます。



プロパティシート内の各項目に関するヘルプを表示させるには、**?** ボタンをクリックしてから、その項目をクリックします。

システム条件

本印刷システムを使うには、Windows 95/98 または Windows NT 4.0、Windows 2000 が動作するコンピュータにプリント拡張 PCI カード - A1/B1 プリンタドライバがインストールされていることが必要です (「第 1 章 - プリンタドライバのインストール」を参照してください)。また、ネットワーク上で印刷するために、お使いの PC (クライアント PC) がサーバー PC に接続されている必要があります。そうすることにより、クライアント PC は、直接カラーレーザーコピーに接続されプリント拡張 PCI カード - A1/B1 のハードウェアとソフトウェアが設定されているのと同じ状態になります。また、カラーレーザーコピーが共有プリンタとして設定されている必要があります。

クライアント PC の必要条件は以下のとおりです。

- ◆ 75 MHz Pentium 以上のプロセッサ
- ◆ 32MB 以上の RAM
- ◆ 100MB 以上の空きディスク容量 (インストール用に 4MB、および仮想メモリ用)

一時ファイルのために必要な領域は、印刷するアプリケーションソフトにより異なります。グラフィックスを扱うアプリケーションソフトで印刷する場合は、Windows プリントマネージャやアプリケーションソフトからのデータを一時保管するために十分なハードディスクの容量が必要になります。

エラーの処理

プリンタのプリントマネージャに印刷ジョブの状態が表示されます (プリントマネージャは、印刷中にタスクバーの右下部に表示されるプリンタのアイコンをダブルクリックすると表示させることができます)。

エラーが発生すると、確認が必要であることを示すメッセージが表示されます。そのとき、サーバー PC のモニタにはエラーの内容と、通常は対策を示すポップアップメッセージが表示されます。

第 1 章 - プリンタドライバのインストール

プリント拡張 PCI カード - A1/B1 をネットワーク上で使用できるようにするには、クライアント PC にプリンタドライバをインストールする前に、サーバー PC にプリンタドライバをインストールしておく必要があります (これにより、クライアント PC は直接カラーレーザーコピーに接続され、プリント拡張 PCI カード - A1 またはプリント拡張 PCI カード - B1 が取り付けられていることと同じ状態になります)。サーバー PC にプリンタドライバをインストールする手順は、『プリント拡張 PCI カード - A1/B1 管理者用ガイド』を参照してください。プリント拡張 PCI カード - A1/B1 プリンタドライバをクライアント PC にインストールする前に、サーバー PC が正しく設定され、またネットワークに関する設定が行われていることを確認してください。

本章では、プリンタウィザードを使ったインストール手順を説明します。

Windows 95/98 でのインストール方法

1. Windows の [スタート] ボタンをクリックし、[設定] メニューの [プリンタ] を選択します。
[プリンタ] ウィンドウが表示され、印刷可能なプリンタがすべて表示されます。

2. [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックして、プリンタウィザードの最初の画面を表示させます。



3. [次へ>] をクリックして、プリンタウィザードの次の画面を表示させます。



4. [ネットワークプリンタ] を選択してから [次へ>] をクリックして、プリンタウィザードの次の画面を表示させます。



5. プリントサーバーの名前とインストールするプリンタの名前を入力するか、[参照] ボタンをクリックしてネットワーク上のプリンタを指定します。
6. [次へ>] をクリックして、プリンタウィザードの次の画面を表示させます。

プリンタドライバは自動的にインストールされることになりますが、もし下の画面とは異なる画面が表示された場合は、「Appendix A - 別のインストール方法」を参照してください。



7. カラーレーザーコピーの名前を 31 文字以内で入力します。
8. このカラーレーザーコピーを通常使うプリンタに設定する場合は [はい] をクリックしてから、[次へ>] をクリックします。



9. [テストページを印刷しますか] というメッセージが表示されます。カラーレーザーコピーに電源が入り、操作パネルに「コピーできます」が表示されていることを確認して [はい (推奨)] をクリックし [完了] をクリックすると、プリンタドライバのインストールが完了します。

10. テストページが正常に印刷されることを確認します。

インストールが終了すると、新しいプリンタのアイコンが [プリンタ] ウィンドウに表示されます。プリンタ名は、プリンタウィザードの途中で入力した名前です (変更しなかった場合は初期設定のプリンタ名になります)。

Windows NT 4.0 でのインストール方法

Windows NT 4.0 が動作する PC にプリント拡張 PCI カード - A1/B1 プリンタドライバをインストールするには、管理者 (Administrator) 権限を持つユーザとしてログオンする必要があります。

1. Windows の [スタート] ボタンをクリックし、[設定] メニューの [プリンタ] を選択します。

[プリンタ] ウィンドウが表示され、印刷可能なプリンタがすべて表示されます。

2. [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックして、プリンタウィザードの最初の画面を表示させます。



3. [ネットワークプリンタサーバー]を選択してから[次へ>]をクリックして、プリンタウィザードの次の画面を表示させます。



4. プリントサーバーの名前とインストールするプリンタの名前を入力するか、[展開して表示する]をクリックしてネットワーク上のプリンタを指定します。
5. [OK]をクリックして、プリンタウィザードの次の画面を表示させます。

プリンタドライバは自動的にインストールされることとなりますが、もし下の画面とは異なる画面が表示された場合は、「Appendix A - 別のインストール方法」を参照してください。



6. このカラーレーザーコピーを通常使うプリンタに設定する場合は [はい] をクリックしてから、[次へ>] をクリックします。



7. [完了] をクリックして、プリンタドライバのインストールを完了します。

インストールが終了すると、新しいプリンタのアイコンが [プリンタ] ウィンドウに表示されます。プリンタ名は、プリンタウィザードの途中で入力した名前です。

Windows 2000 でのインストール方法

Windows 2000 が動作する PC にプリント拡張 PCI カード -A1/B1 プリンタドライバをインストールするには、管理者 (Administrator) 権限を持つユーザとしてログオンする必要があります。

1. Windows の [スタート] ボタンをクリックし、[設定] メニューの [プリンタ] を選択します。

[プリンタ] ウィンドウが表示され、印刷可能なプリンタがすべて表示されます。

2. [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックして、プリンタウィザードの最初の画面を表示させます。



3. [次へ >] をクリックして、プリンタウィザードの次の画面を表示させます。



4. [ネットワークプリンタ] を選択してから [次へ >] をクリックして、プリンタウィザードの次の画面を表示させます。



5. プリントサーバーの名前とインストールするプリンタの名前を入力するか、入力欄を空白にしたまま [次へ >] をクリックしてネットワーク上のプリンタを指定します。

6. [次へ>] をクリックして、プリンタウィザードの次の画面を表示させます。

プリンタドライバは自動的にインストールされることとなりますが、もし下の画面とは異なる画面が表示された場合は、「Appendix A - 別のインストール方法」を参照してください。



7. このカラーレーザーコピーを通常使うプリンタに設定する場合 [はい] をクリックしてから、[次へ>] をクリックします。



8. [完了] をクリックして、プリンタドライバのインストールを完了します。

インストールが終了すると、新しいプリンタのアイコンが [プリンタ] ウィンドウに表示されます。プリンタ名は、プリンタウィザードの途中で入力した名前です (変更しなかった場合は初期設定のプリンタ名になります)。

第 2 章 - 印刷システムの使用

この章では、プリント拡張 PCI カード - A1/B1 プリンタドライバの各プロパティシート（タブが付いたダイアログボックス）のさまざまな設定とそれらを組み合わせた設定について説明します。プリント拡張 PCI カード - A1/B1 プリンタドライバのプロパティシートは 5 つあり、それぞれのタブは次のとおりです。

用紙 | 仕上げ | レイアウト | グラフィックス | フォント |

注意：お使いのカラーレーザーコピーにより設定できる印刷オプションが異なります。設定できないオプションは、画面上ではグレー表示になります。

アプリケーションソフトからの印刷

以下の手順にしたがって、プリント拡張 PCI カード - A1/B1 プリンタドライバがインストールされている PC からカラーレーザーコピーで印刷を行います。

1. お使いのアプリケーションソフトで [印刷] コマンドを選択します。
2. [プリンタ名] ドロップダウンリストからカラーレーザーコピーを選択します。
3. [プロパティ] ボタンをクリックして、プロパティダイアログボックスを表示させます。
4. 各シートの必要項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします（印刷設定の詳細についてはこのあとのセクションを参照してください）。

シート上で設定した後に [更新] または [OK] ボタンをクリックしたり別のタブをクリックしようとする、設定内容に矛盾がないかどうか自動的にチェックされ、設定内容が矛盾している場合は、その解決方法を示すメッセージが表示されます。

5. [印刷] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックして印刷を開始します。

[用紙] シート

[用紙] シートでは、印刷に使用する用紙に関する設定を行います。



◆ [用紙サイズ]

使用できる用紙サイズの一覧です。お使いのカラーレーザーコピーの機種によって選択できる用紙のサイズは異なります。

初期設定値は [A4] です。

プリント拡張 PCI カード - A1/B1 でサポートされている B4 および B5 サイズは、カラーレーザーコピーと同様、日本工業規格 (JIS) に基づいています。国際標準化機構 (ISO) の規格とは異なります。

◆ [用紙タイプ]

印刷可能な用紙の種類の一覧です。お使いのカラーレーザーコピーの機種によって選択できる用紙の種類は異なります。

初期設定値は [普通紙] ですが、OHP フィルム (A4、レターのみ) に印刷したり、また [給紙方法] で [手差しトレイ] を選択しているときは、厚紙、最厚口、コート紙 (特殊紙 1)、フィルム (特殊紙 2) に印刷することもできます。

◆ [給紙方法]

給紙元となるカセット (または手差しトレイやサイドペーパーデッキ) を選択します。お使いのカラーレーザーコピーの機種によって選択できる給紙方法は異なります。

初期設定値の [自動選択] を選択すると、指定されているサイズと向きが合っている用紙が入っているカセットが自動的に選択されます。

A4 サイズのカセットには、より短い時間で印刷するために通常長辺からカラーレーザーコピーに供給される向きに用紙がセットされています。用紙の短辺からカラーレーザーコピーに給紙するには、A4R サイズのカセットを選択します (レターおよび B5 サイズの場合も同様です)。

注意： カセット内の用紙の向きが A4 と A4R のどちらの場合でも A4 サイズの文書をカラーレーザーコピーで印刷できるようにするには、[用紙指定変倍] で [自動] を選択しておく必要があります。[A4] と [しない] を同時に選択すると、カセットに A4 の向きの用紙がある場合にしか印刷が実行されません (レターおよび B5 サイズの場合も同様です)。

A3 および B4、11 × 17 サイズ、12 × 18 サイズの用紙は、常に短辺からカラーレーザーコピーに給紙されます。

◆ [用紙指定変倍]

選択したカセットに指定したサイズの用紙がない場合、用紙の切り替えと用紙サイズの変更を指定できます。また、印刷を行うアプリケーションソフトでの設定と異なる用紙サイズを選択して、文書を拡大 / 縮小させることもできます。

初期設定値は [しない] です。

◆ [部数]

印刷する部数 (1 から 999 まで) を指定します。

初期設定値は [1] です。

◆ [印刷の向き]

ページ上に原稿を印刷する向きを指定します。

初期設定は [縦] です。

◆ [バージョン情報] ボタン

プリンタドライバのバージョン情報と著作権が表示されます。

◆ [標準に戻す] ボタン

このシートの各項目の設定が標準の値 (初期設定値) に戻ります。

正しい用紙設定と給紙方法を選択する

1. 用紙サイズを [用紙サイズ] ドロップダウンリストから選択します。
 - 12 × 18 インチの用紙やはがきは、給紙カセットやサイドペーパーデッキにセットできません。[用紙サイズ] で [12 × 18] または [はがき] を選択したときは、給紙元として手差しトレイを選択する必要があります。
2. 使用する給紙元を [給紙方法] ドロップダウンリストから選択します。
 - [サイドペーパーデッキ] を選択したときは、2500 枚まで印刷できます。ただし、サイドペーパーデッキで使用できるように設定されている A4、レター、B5 のいずれかのサイズに限りします。
3. 用紙タイプを選択します。
 - [厚紙]、[最厚口]、[特殊紙 1] (コート紙)、[特殊紙 2] (フィルム) のいずれかを指定した場合は、[給紙方法] に [手差しトレイ] を指定する必要があります。これらの用紙を指定して [手差しトレイ] を指定しなかった場合は、設定を更新したり別のタブをクリックしようとするエラーメッセージが表示されます。
 - [OHP フィルム] は、[用紙サイズ] で [A4] または [レター]、[用紙指定変倍] で [しない] を指定した場合のみ選択できます。それ以外を指定した場合は、設定を更新したり、別のタブをクリックしようとするエラーメッセージが表示されます。

注意 1 : プリンタドライバの設定よりアプリケーションソフトの設定が優先されることがあるので、用紙サイズは、アプリケーションソフトで設定しているものに合わせて設定してください。

注意 2 : カセットによっては、キヤノンの担当サービスによって設置時に設定されたサイズの用紙のみをセットできます。これらの給紙元から異なる用紙を印刷しようとしてもジョブは印刷されません。サーバー PC にはエラーメッセージが表示されます。
詳細はカラーレーザーコピーの取扱説明書を参照してください。

OHP フィルムに印刷する

カラーレーザーコピーでは、手差しトレイまたはカセットにセットされた OHP フィルムに印刷できます。サイドペーパーデッキは OHP フィルムに対応していません。

1 度に印刷する OHP フィルムの枚数が少ない場合は、手差しトレイから印刷することをおすすめします。1 度に多くの OHP フィルムに印刷したり、OHP フィルムに定期的に印刷するような場合は、OHP フィルム用のカセットを決めておくほうがよいでしょう。

OHP フィルム給紙段を設定してから、カセットの OHP フィルムに印刷するには、以下のようにします。

1. 指定したカセットに OHP フィルムをセットします (OHP フィルムをセットする向きについては、カラーレーザーコピーの取扱説明書を参照してください)。
2. カラーレーザーコピーの操作パネルで OHP フィルム給紙段を設定し、OHP フィルムが入っているカセットを表示させます (詳細はカラーレーザーコピーの取扱説明書を参照してください)。
3. プリンタドライバで、[用紙タイプ] から [OHP フィルム] を選択します。
4. [用紙サイズ] から [A4] または [レター] を選択します。サイズはカセットにセットされている OHP フィルムに合わせてください。
5. [用紙指定変倍] が [しない] になっていることを確認します。
6. [給紙方法] から OHP フィルム給紙段で設定したカセットを選択し、印刷を実行します。

手差しトレイを使う

手差しトレイから印刷するときは、トレイにセットされている用紙が [用紙サイズ] ボックスでの選択と一致する必要があります。

1. 必要な枚数の用紙を手差しトレイにセットします。
2. 手差しトレイにセットした用紙のサイズを、[用紙サイズ] ドロップダウンリストから選択します。
3. [給紙方法] ドロップダウンリストから [手差しトレイ] を選択します。

4. [用紙指定変倍]で[しない]を必ず指定してください。[しない]が指定されていないと、設定を更新したり、別のタブをクリックしようとするときエラーメッセージが表示されます。

手差しトレイによる両面印刷

CLC1130、CLC1150 では次の場合、[給紙方法]ドロップダウンリストから手差し両面の項目を選択して両面印刷することができます。

- ◆ 両面ユニットを装着していない機種 (CLC1130) で印刷するとき
- ◆ 12 × 18 インチの用紙に印刷するとき
- ◆ 厚紙や最厚口に印刷するとき

手差しトレイを使って両面印刷するときは、表面に印刷したあと、用紙を裏返して手差しトレイにセットし直してから裏面に印刷します。

1. 手差しトレイによる片面印刷のときと同じ手順で印刷します。ただし、[給紙方法]ドロップダウンリストでは[手差しトレイ]の代わりに[手差し両面 (1 面目)]を選択してください。
2. 奇数ページの印刷が終わったら、排紙トレイの用紙を裏返して印刷済みの面を下に向け、手差しトレイにセットし直します。

注意：用紙は本やカレンダーのページをめくるときのように、長辺とじの文書は長辺を軸に、短辺とじの文書は短辺を軸にして裏返します。縦向きに印刷するときは「図 1：手差し両面印刷 (縦向きの場合)」、横向きに印刷するときは「図 2：手差し両面印刷 (横向きの場合)」に示すようにします。

3. [給紙方法]ドロップダウンリストで[手差し両面 (2 面目)]を選択してページの 2 面目の印刷を行います。
4. 最後のページが片面しか印刷されない場合は、そのページが手差しトレイに残るので忘れずに取り除いてください。

図 1：手差し両面印刷（縦向きの場合）

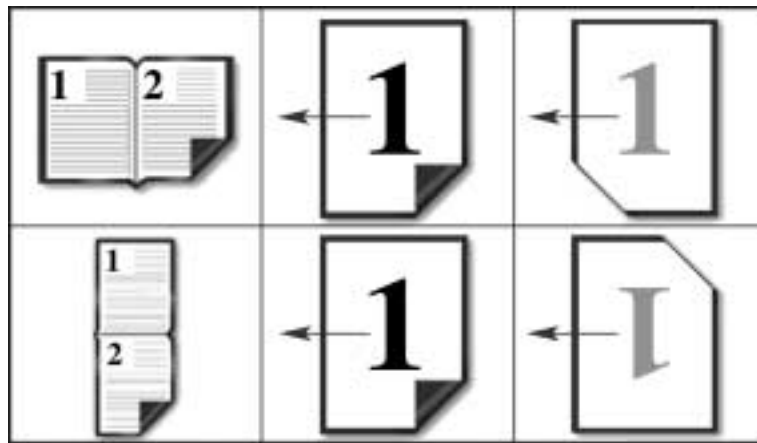
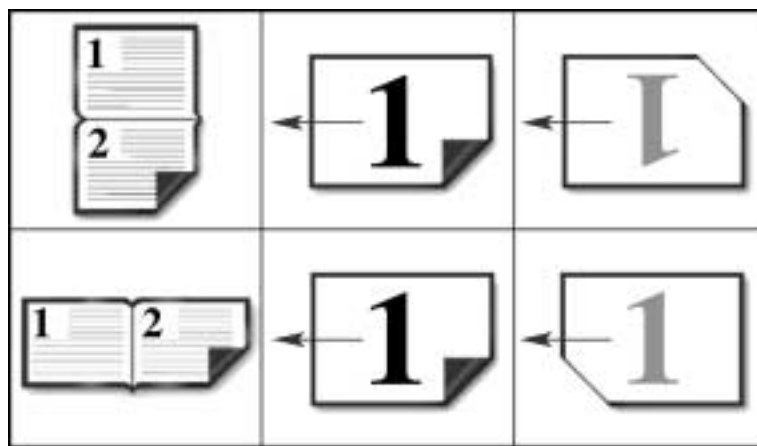


図 2：手差し両面印刷（横向きの場合）



複数部数を印刷する

カラーレーザーコピーでは、文書を 1 部から 999 部まで印刷できます。ただし、これほど多くの部数を印刷するには、カセットに入れる用紙の枚数にも限界がありますので、印刷の途中で少なくとも 1 回 (カラーレーザーコピーにより異なります) は、印刷が終わった用紙を取りだしてカセットに用紙を補給する必要があります。なお、カラーレーザーコピーにサイドペーパーデッキが装着されている場合は、A4、レター、B5 サイズのいずれかの用紙に 2500 枚まで印刷できます。

注意： 印刷を実行するアプリケーションソフトで部数を指定できる場合は、このシートではなくアプリケーションソフトで部数を指定することをおすすめします。アプリケーションソフトと [用紙] シートの両方で部数を指定すると、設定より多くの部数が印刷されることがありますので、注意してください。

用紙指定変倍とは

[用紙指定変倍] を指定することにより、[用紙サイズ] で指定した用紙と異なるサイズの用紙に印刷することができます。

[給紙方法] が [自動選択] 以外の場合は、以下のように [用紙指定変倍] の選択に従います。

- ◆ **[しない]：** ユーザによる確認が必要であることを示すメッセージがプリントキューに表示され、指定されたサイズの用紙を要求するメッセージがサーバー PC に表示されます。指定されたカセットに正しいサイズと向きの用紙がセットされるまで、印刷は行われません。
- ◆ **[自動]：** 指定したカセットにある用紙が使われます。文書は、用紙の余白の内側に収まるように拡大 / 縮小されます。

重要： 印刷しているアプリケーションソフトでの用紙サイズの設定が [用紙サイズ] ボックスの設定より優先される場合もあります。たとえば、アプリケーションソフトでカスタムサイズを指定している場合は、文書を印刷するにはアプリケーションソフトの用紙サイズを標準サイズに変更する必要があります (または、プリンタドライバで [用紙指定変倍] を設定します)。

- ◆ **用紙サイズ指定**：これらのオプションを選択することにより、給紙方法にかかわらず、用紙サイズを切り替えて文書を拡大 / 縮小させることができます。たとえば、A3 サイズの文書を A4 サイズで印刷したい場合は、[A4] を選択します。文書が A4 の用紙に縮小されて印刷されます。

注意：用紙サイズの一覧で選択したオプションによっては、切り替えられた用紙に収まるように文書が回転されることがあります。

また、[給紙方法] が [自動選択] の場合は、以下のように [用紙指定変倍] の選択に従います。

- ◆ **[しない]**：前述の場合と同じです。
- ◆ **[自動]**：指定したサイズに最も近い用紙が使用されます。文書は、用紙の余白の内側に収まるように拡大 / 縮小されます。
- ◆ **用紙サイズ指定**：指定した用紙サイズに合うようにページが拡大 / 縮小されて印刷されます。

注意：[レイアウト] シートまたはアプリケーションソフトで拡大 / 縮小率が設定されていると、文書が二重に拡大 / 縮小されます。まず拡大 / 縮小率が適用され、さらに、必要に応じてここで指定された用紙サイズに合うように文書が拡大 / 縮小されます。これによる印刷品質への影響はありません。

[仕上げ] シート

[仕上げ]シートでは、縦向きまたは横向きの文書を印刷するための、さまざまな設定を行います。また、プリンタに両面印刷機能がある場合は、両面印刷するための設定も行います。このシートの各項目の説明は、**?** をクリックしてから、その項目をクリックすると表示されます。



◆ [両面印刷]

原稿を用紙の両面に印刷するかどうかを指定します。両面に印刷する場合は、ページのとじ方向も指定します。印刷の向き（縦または横）に従って選択してください。

たとえば、原稿のページのとじ方向を「図3:両面印刷(縦向きの場合)」の上の図(長辺とじ、縦方向)や、「図4:両面印刷(横向きの場合)」の下図(短辺とじ、横方向)のように、本の形式でとじることができます。または、「図3:両面印刷(縦向きの場合)」の下図(短辺とじ、縦方向)や、「図4:両面印刷(横向きの場合)」の上図(長辺とじ、横方向)のように、カレンダーの形式でとじすることもできます。

カラーレーザーコピーに両面ユニットが装着されていて給紙カセットから普通紙に印刷するときは、両面印刷を指定できます。

CLC1130、CLC1150では、他の両面印刷の方法を指定できます。14ページの「手差しトレイによる両面印刷」を参照してください。

図 3 : 両面印刷 (縦向きの場合)

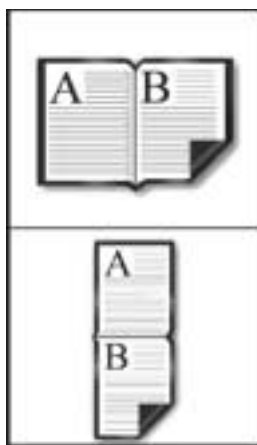
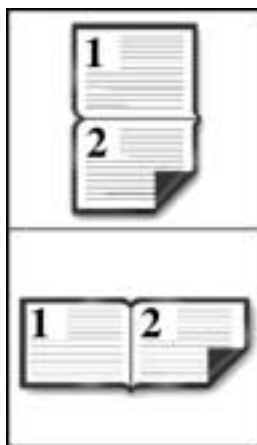


図 4 : 両面印刷 (横向きの場合)



◆ 【画像位置調整】

左下隅を起点とするオフセット値 (水平および垂直方向) を指定することにより、画像の出力位置を細かく指定できます。用紙の表 (1 面目) と裏 (2 面目) に対して別々のオフセット値を指定できます。【画像位置調整】は、インチまたは mm (ミリメートル) のどちらかの単位が指定できます。なお、片面印刷が指定されている場合は、[2 面目] はグレー表示となり指定できません。

◆ [印刷範囲]

印刷されるページの余白を設定します。通常は、片面印刷の場合は [印刷できる全領域を印刷する] を、両面印刷の場合は [両端の余白をそろえる] を選択します。両面印刷ではこの設定により、用紙の先端、後端、両側の余白が同じになり、表と裏の印刷範囲が一致します。

◆ [標準に戻す] ボタン

このシートの各項目の設定が標準の値 (初期設定値) に戻ります。

出力位置を細かく指定する

[画像位置調整] で左下隅からのオフセット値を指定することにより、出力位置を細かく指定できます。プリンタに両面印刷機能がある場合は、[1 面目] と [2 面目] の両方のボックスにオフセット値を入力することにより、用紙の表と裏に対して別々のオフセット値を設定することもできます。

用紙指定変倍を指定している場合は、オフセット値も画像の拡大 / 縮小率と同じ率で変化します。

両面印刷を逆順で実行する

両面印刷する文書を逆順で印刷したい場合 (最終ページが最初に印刷される) は、このシートで [両面印刷] を選択し、[レイアウト] シートで [最後のページから逆順印刷] を選択します。逆順で印刷する場合は、正順での印刷より多くのディスクの空き容量が必要となりますので、注意してください。

印刷ページの余白を設定する

通常、片面印刷の場合は [印刷できる全領域を印刷する] を、両面印刷の場合は [両端の余白をそろえる] を選択しますが、どちらを選択してもかまいません。

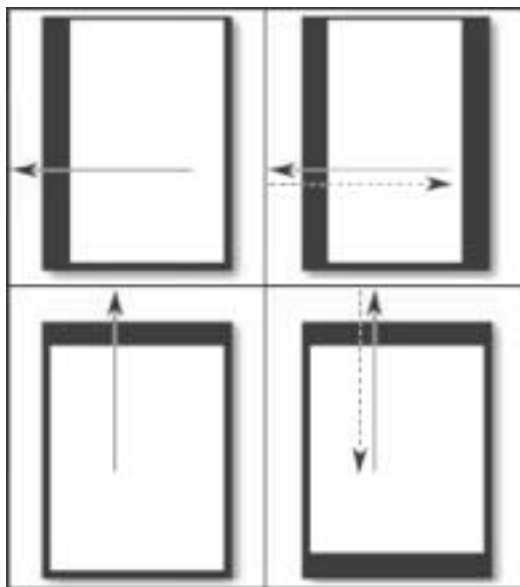
◆ [印刷できる全領域を印刷する] では、用紙カセットから片面印刷を行う場合、余白は先端 (プリンタに始めに入る端) 8.5 mm、その他の端が 2.5 mm になります (余白についての詳細は 32 ページの「印刷余白」を参照してください)。

- ◆ [両端の余白をそろえる] での余白は、先端および後端が 8.5 mm、その他の端が 2.5 mm となり、用紙の各両端の余白が一致します。

注意： はがきに印刷する場合、左右 (はがきの長辺) の余白は 5.5 mm になります。

「図 5：印刷余白」の上の 2 つの図は、用紙の長辺からカラーレーザーコピーに給紙される場合の印刷可能な全領域を印刷したときの余白 (左図) と、両端の余白を揃えて印刷したときの余白 (右図) を示しています。図中の矢印は給紙方向を示しています (両面印刷の場合は用紙の両面それぞれの給紙方向を示します)。

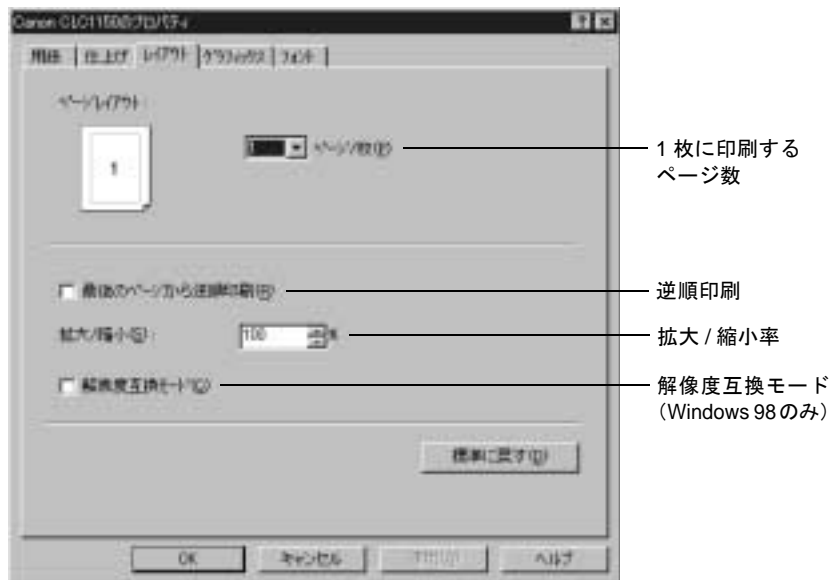
図 5：印刷余白



「図 5：印刷余白」の下 の 2 つの図は、用紙の短辺からカラーレーザーコピーに給紙される場合の、印刷可能な全領域を印刷したときの余白 (左図) と、両端の余白を揃えて印刷したときの余白 (右図) を示しています。

[レイアウト]シート

[レイアウト]シートでは、印刷結果がどのようになるかを設定します。



◆ [ページレイアウト]

1枚の用紙に同時に印刷する原稿のページ数を指定します。初期設定では用紙1枚につき1ページですが、9ページ分まで印刷するように指定できます。

◆ [最後のページから逆順印刷]

このチェックボックスをオフにすると、文書の最初のページから順に印刷されます。チェックボックスをオンにすると、逆の順序で(最後のページから)印刷されます。逆順の印刷は、正順の印刷より多くのディスクの空き容量を必要としますので、注意してください。

◆ [拡大 / 縮小]

印刷されるページの拡大 / 縮小率を設定します。印刷されるページの左上隅を起点にして、ページが拡大 / 縮小されます。100% 未満の縮小率を指定すると、アプリケーションソフトによっては指定した値より大きい縮小率が適用されることがあります。ただし、印刷するアプリケーションソフトによって結果が異なります。31 ページの「拡大 / 縮小」を参照してください。[ページ / 枚] ドロップダウンリストに 2 以上の値を入力すると、拡大 / 縮小率が 100% に固定されます。

◆ [解像度互換モード]

Windows 98 で、Adobe Acrobat または Adobe Acrobat Reader から印刷を行うときにのみ使用する機能です。

Adobe Acrobat または Adobe Acrobat Reader で「画像として印刷」機能を使って印刷を行うと、印刷結果の一部が欠けるなどの問題が起きることがあります。この場合は、このチェックボックスをオンにすると、ページ全体が印刷可能な領域全体に印刷されるようになります。このときの印刷解像度は 300 dpi になり、Adobe Acrobat の印刷時の問題を回避することができます。

ページの印刷品質が落ち、細かい部分が再現できないことがありますので、注意してください。



◆ [標準に戻す] ボタン

このシートの各項目の設定が標準の値 (初期設定値) に戻ります。

[グラフィックス] シート

[グラフィックス] シートでは色に関する設定を行います。



[カラー]:

◆ [カラーモード]

印刷時に、ブラックだけでなく、シアン、マゼンタ、イエローのカラートナーを使用するかどうかを指定します。

◆ [カラーマッチング]

カラーレーザーコピーの再現範囲外の色を処理する方法を指定します。詳細は 26 ページの「カラーマッチングを使用する」を参照してください。

◆ [文字 / 写真優先]

原稿の内容に合わせて、黒に近い色を表現するために色の最適化を行います。

黒色にカラーの下色が付いていると文字のまわりに色がにじむ傾向がありますが、一方、より深みのある黒が得られるという長所があります。文字だけの文書を印刷する場合は、[文字を優先] を選択することにより下色をすべて除去できます。イメージが多い文書を印刷する場合は、[写真を優先] を選択することにより色の除去をできるだけ抑えることができます。文字とイメージが同じくらい含まれる文書では、初期設定の [文字と写真] を選択するとそれらの中間の状態になります。

◆ **【モニタープロファイル】**

印刷される色を、コンピュータのモニタに表示される色にできるだけ合わせるようにします。モニタのガンマ設定に合わせてモニタープロファイルを選択する必要があります。ガンマ設定についてはモニタの取扱説明書を参照してください。標準的な設定は [ガンマ係数 1.8] です。

【バランス】:

◆ **【イエロー】、【マゼンタ】、【シアン】、【ブラック】**

これらのスライダーで4つのカラートナーの割合を増減することにより、印刷される色のバランスを調整できます。4つの各カラートナーの割合を変えて組み合わせることにより、さまざまな色が印刷できます。

◆ **【バランスを標準に戻す】ボタン**

カラーバランスが初期設定値に戻ります。バランス以外のカラーの設定には影響がありません。

◆ **【標準に戻す】ボタン**

このシートの各項目の設定が標準の値 (初期設定値) に戻ります。

[カラーモード] を選択する

カラーレーザーコピーのカラートナーを無駄なく使用するために、文書の内容に合わせて [カラーモード] を指定してください。

◆ **【カラー】**: 文書の全ページに色が含まれる場合に選択します。

◆ **【モノクロ】**: 文書にカラーのページがなく、黒またはグレーのページのみがある場合に選択します。ブラックのトナーのみでより高速に印刷されます。

◆ **【自動切り替え】**: 文書にカラーのページとモノクロのページが混在する場合に選択します。黒やグレー以外の色があるページのみのカラートナーが使用されます。

カラーマッチングを使用する

3つのカラーマッチングの中から、カラーレーザーコピーの再現範囲外の色の処理方法を指定します。

カラーレーザーコピーではモニタ上のすべての色を再現することはできません。画面上のイメージに含まれる色が再現可能な色の範囲にならない場合、カラーレーザーコピーはその色を他の近似色に置き換えます。近似色を決定する方法は3つあります。

【色み優先】

色み（色相）を優先したマッチングを行います。画面と色みが同じようになります。

【色差最小】

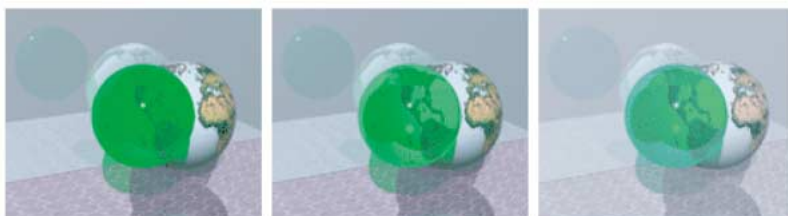
原稿と出力の色の差を最小にしたマッチングを行います。ロゴなどの指定色をなるべく近似した色で出力するときに選択します。

【鮮やかさ優先】

鮮やかさを優先したマッチングを行います。原色系の色を鮮やかに再現します。

これらの手法の違いを「図6：カラーマッチング手法の比較」に示します。左は【色み優先】、中央は【色差最小】、右は【鮮やかさ優先】を適用した場合の例です。

図6：カラーマッチング手法の比較



印刷出力のカラーバランスを調整する

[イエロー]、[マゼンタ]、[シアン]、[ブラック]の各スライドバーを使って、印刷される色のバランスを調整します。カラーレーザーコピー本体のカラーバランスの調整が必要と思われる場合は、キヤノンの担当サービスにご連絡の上、再調整を依頼してください。

[バランスを標準に戻す]ボタンをクリックすると、カラーバランスを初期設定値に戻すことができます。バランス以外のカラーの設定には影響がありません。

[文字/写真優先]を指定する

原稿の内容に合わせて指定します。文字だけの原稿を印刷する場合は[文字を優先]、イメージが多い原稿を印刷する場合は[写真を優先]を選択します。文字とイメージが同じくらい含まれる原稿では[文字と写真]を選択します。この設定で色の最適化を行うことにより、できるだけ深みのある黒を出力したり、文字の周りの色のにじみを最小限に抑えたりすることができます。

モニタに表示される色と印刷結果の色を合わせる

印刷結果の色を、コンピュータのモニタに表示される色に合わせます。モニタのガンマ設定に合わせてモニタプロファイルを選択します。ガンマ設定についてはモニタの取扱説明書を参照してください。標準的な設定は[ガンマ係数 1.8]です。

注意：アプリケーションによってはCMYK カラーモデルを使って色の指定ができますが、その場合モニタに表示される色と印刷結果の色が異なる場合があります。なるべくRGB カラーモデルを使って色指定するようにしてください。

[フォント] シート

[フォント] シートでは、文書中のフォントをどのように印刷するかを設定します。

ただし、フォントに問題がなく印刷できる場合は、初期設定値を変更しないことをおすすめします。



◆ [サーバーのフォントを使用 (標準)]

通常は、この項目を選択してください。

文書に使用されているフォントがお使いの PC にインストールされていても、サーバー PC にそのフォントがない場合、要求されたフォントに最も近いフォントが代用されます。適切な代用フォントが見つからないときは、白抜きの方角が印刷されます。

フォントが正しくても、違っている文字があったり抜けている文字がある場合は、[サーバーのフォントを使用 (拡張文字)] を選択して印刷します。

印刷されたフォントが正しくない場合は、システム管理者に、正しいフォントをサーバー PC にインストールしてもらうか、または、[文字をグラフィックスで印刷する] を選択して印刷してください。

◆ **【サーバーのフォントを使用（拡張文字）】**

[サーバーのフォントを使用（標準）]を選択して印刷した場合に、
違っている文字があったり抜けている文字があるときに選択して
ください。（この項目は、Windows 95/98 を使用しているときのみに
選択できます。）

◆ **【文字をグラフィックスで印刷する】**

上の2つの項目を選択しても満足な結果が得られない場合は、この
項目を選択してください。この項目を選択すると、それぞれの文字
はお使いの PC 上でグラフィックに変換されて、サーバー PC に送
られます。すべての文字が正しいフォントで印刷されますが、印刷
の速度が遅くなります。

ヒントとアドバイス

ここでは、プリント拡張 PCI カードを最適な性能で使用するための、
さまざまな情報を紹介します。

印刷速度を速くするには

ここでは、速く印刷するためのヒントを挙げます。

高速印刷

A4、レター、B5 サイズの用紙に印刷する場合は、給紙方向を A4、レ
ター、B5 に設定にしたほうが、A4R、レター R、B5R よりも速く印刷
できます。用紙の長辺から給紙されると、カラーレーザーコピーでは
同時に2枚の用紙に印刷できますが、短辺から給紙されると、1枚ず
つの印刷になるからです。

また、片面印刷は両面印刷よりも速く印刷されます。

さらに、プリントサーバーに十分なメモリが搭載されている場合は、
印刷速度の向上のために、システム管理者はカラーレーザーコピーを
連続印刷モードで動作するように設定できます。『プリント拡張 PCI
カード - A1/B1 管理者用ガイド』の「効率を上げる」を参照してくださ
い。

部単位で印刷の解除

多くのアプリケーションソフトでは、[印刷]ダイアログボックスの[部単位で印刷]チェックボックスが初期設定でオンになっています。プリント拡張 PCI カード - A1/B1 を使って複数ページの文書を速く大量に印刷するためには、印刷を開始する前にこのチェックボックスをオフにしておくことをおすすめします。オンにしていると印刷速度が遅くなることがあります。

トラブルシューティング

ここでは、問題が発生したときの対処方法について説明します。一般に用紙サイズや、給紙方向、部数、余白、拡大/縮小などが印刷するアプリケーションソフトで設定できる場合は、そのアプリケーションソフトのダイアログボックスで必要に応じて設定してください。アプリケーションソフトによっては、プリンタドライバのプロパティシートでアプリケーションソフトと異なる設定をしたり、重複した設定をすると期待どおりの結果が得られないことがあります。

プリンタの変更

アプリケーションソフトの[印刷]ダイアログボックスで、カラーレーザーコピーをプリンタに選択し直すときは、プリンタのプロパティを確認してください。プリンタを選択し直したときに前のプリンタと類似した設定項目があると、前の設定が残ってしまうことがあります。

標準サイズ以外の用紙の印刷

印刷を実行するアプリケーションソフトで設定した用紙サイズは、プリント拡張 PCI カード - A1/B1 プリンタドライバの[用紙サイズ]ボックスの設定より優先される場合があります。たとえば、Word 97 を使ってカスタムサイズに指定すると、A4 または A3 サイズなどの用紙に印刷されることがあります。

アプリケーションソフトでカスタムサイズを指定した場合は、[用紙]シートで、最も近い用紙サイズを指定し、[用紙指定変倍]で[自動]を指定してみてください。それでも正しく印刷できないときは、アプリケーションソフトでカスタムサイズを標準のサイズに変更して印刷してください。

B4 および B5 サイズの用紙への印刷

手差しトレイから国際標準化機構 (ISO) 規格の B4 および B5 サイズの用紙に印刷しようとする、問題が発生します。これはカラーレーザーコピーと同様に、プリント拡張 PCI カード - A1/B1 では ISO 規格ではなく、日本工業規格 (JIS) の B4 と B5 サイズをサポートしているためです。

拡大 / 縮小

[レイアウト] シートで 100% 未満の縮小率を指定すると、アプリケーションソフトによっては、指定した値より大きい縮小率が適用されることがあります。拡大 / 縮小率を指定できるアプリケーションソフトで印刷出力を縮小したい場合は、プリンタドライバではなく、アプリケーションソフトで拡大 / 縮小率を指定してください。

複数ページの文書を複数部印刷する

複数ページの文書を複数部印刷する場合は、片面印刷時も両面印刷時も、部数を指定できるアプリケーションソフトでは、プリンタドライバではなく、アプリケーションソフトで部数を指定してください。アプリケーションソフトとプリンタドライバの両方で部数を指定すると、設定より多くの部数が印刷されることがありますので、注意してください。

フォント

正しい印刷結果を得るためには、お使いの PC にインストールされている TrueType フォントが、サーバー PC にもインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、代用フォントが印刷に使用されます (代用フォントについての詳細は『プリント拡張 PCI カード - A1/B1 管理者用ガイド』の「Appendix A」を参照してください)。

また、Adobe Type Manager (ATM) がインストールされていて、文書に ATM フォントまたは PostScript Type 1 フォントが含まれる場合は、OS (基本ソフト) により印刷結果が異なります。

Windows 95/98 の場合は以下の 3 つの方法があります。

- ◆ ATM バージョン 3 を使用している場合は、ATM コントロールパネルの [ATM フォントをプリンタに送る] チェックボックスをオンにすることにより、ATM フォントをグラフィックスとして印刷できます。ATM バージョン 4 を使用している場合は、[Setting] タブをクリックしてから [Advanced] ボタンをクリックし、[Print Font as graphics] を選択することにより、Type 1 フォントをグラフィックスとして印刷できます。印刷速度は遅くなりますが、ATM フォントが正しく印刷されますので、通常の印刷におすすめします。

- ◆ プリント拡張 PCI カード - A1/B1 では、ATM フォントに TrueType フォントを代用すると印刷速度が上がります。たとえば、Helvetica の代用フォントは Ariel ですが、これらはよく似ているので、Helvetica が使われている原稿などには、この方法が適しています。
- ◆ 上記のどちらも適さない場合は、インストールされている TrueType フォントのみを使用するように変更できます。

Windows NT 4.0 に ATM Deluxe バージョン 4.0 をインストールして使用している場合は、ATM フォントが印刷ジョブに埋め込まれ、正しく印刷されます。

Windows 2000 の場合は、PostScript Type 1 フォントのための ATM をインストールする必要はありません。

適切な色で印刷する

色の指定にはいろいろなカラーモデルが使われます。アプリケーションで色指定するためのカラーモデルを選択する場合、CMYK モデルを選択すると、モニタに表示される色と印刷結果の色が異なる場合があります。なるべく RGB カラーモデルを使って色指定するようにしてください。

印刷余白

カラーレーザーコピーで印刷したときの後端の余白は、通常は 2.5 mm ですが、以下の場合は 4.5 mm になります。

- ◆ [印刷できる全領域を印刷する] を選択して両面印刷を行ったときのページの表の面 (1 面目)
- ◆ CLC900、CLC920、CLC950 を使用し、手差しトレイから印刷されたページ

パスワードによる保護

カラーレーザーコピーに印刷するときにパスワードを要求された場合は、システム管理者にパスワードを問い合わせてください。

オンラインヘルプの言語

プリント拡張 PCI カード - A1/B1 のオンラインヘルプが他の言語で表示される場合は、システム管理者に問い合わせてください。

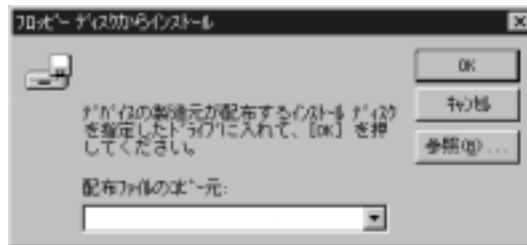
Appendix A - 別のインストール方法

Windows 95/98 の場合

プリント拡張 PCI カード - A1/B1 プリンタドライバをネットワークから自動的にインストールできない場合は、3 ページの手順 6 の後で以下の手順を実行してください。



1. [ディスク使用]をクリックして、[フロッピーディスクからインストール]ダイアログボックスを表示させます。



インストールファイルは CD-ROM の ¥JAPANESE¥WIN¥OPD フォルダにあります。

2. CD-ROM ドライブのパスを検索するか、直接フォルダ名を入力し
(例 D:¥JAPANESE¥WIN¥OPD)、[OK] をクリックします。
3. 表示されたリストから適切なカラーレーザーコピーのモデル名を選択します。



4. [次へ>] をクリックして、プリンタウィザードの次の画面を表示させます。

この後のインストール手順は 3 ページのステップ 7 以降と同じです。

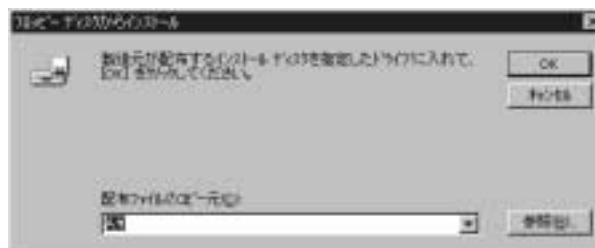
Windows NT 4.0 の場合

Windows NT 4.0 のサーバーではなく Windows 95/98 のサーバーに接続されているプリンタをインストールしようとする、サーバーに正しいプリンタドライバがインストールされていないことを警告するために「プリンタの接続」メッセージが表示され、サーバーに正しいプリンタドライバがインストールされていないことを警告します。この場合は、次のようにします。

1. Windows NT をログアウトし、管理者 (Administrator) または管理者 (Administrator) 権限を持つユーザとしてログオンします。
2. 第 1 章「Windows NT 4.0 でのインストール方法」のステップ 1 ～ 5 までを行います。



3. [ディスク使用] をクリックして [フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスを表示させます。



インストールファイルは CD-ROM の ¥JAPANESE¥NT4¥OPD フォルダにあります。

4. CD-ROM ドライブのパスを検索するか、直接フォルダ名を入力し
(例 D:¥JAPANESE¥NT4¥OPD)、[OK] をクリックします。
5. 表示されたリストから適切なカラーレーザーコピーのモデル名を選択します。



6. [OK] をクリックして、プリンタウィザードの次の画面を表示させます。

この後のインストール手順は 6 ページのステップ 6 以降と同じです。

Windows 2000 の場合

プリント拡張 PCI カード -A1/B1 プリンタドライバをネットワークから自動的にインストールできない場合は、8 ページの手順 6 の後で以下の手順を実行してください。



1. [ディスク使用] をクリックして、[フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスを表示させます。



インストールファイルは CD-ROM の ¥JAPANESE¥WIN2000¥OPD フォルダにあります。

2. CD-ROM ドライブのパスを検索するか、直接フォルダ名を入力し (例 D:\¥JAPANESE¥WIN2000¥OPD)、[OK] をクリックします。

3. 表示されたリストから適切なカラーレーザーコピーのモデル名を選択します。



4. [次へ>] をクリックして、プリンタウィザードの次の画面を表示させます。

この後のインストール手順は 8 ページのステップ 7 以降と同じです。

索引

数字

12 × 18 インチの用紙12, 14

A

Adobe Type Manager フォント31

ATM フォント31

O

OHP フィルム
使用できるサイズ12

T

TrueType フォント31

あ

鮮やかさ優先26
厚紙
 最厚口12
 両面印刷14
厚紙印刷12
アプリケーションソフトから印刷9
色差最小26
色味優先26
印刷
 位置を指定19
 拡大 / 縮小23
 逆順22
 大量の枚数を16, 12
 非標準の用紙への両面印刷14
 標準外の用紙サイズ30
 複数ページの文書を複数部印刷31
 複数ページ分を 1 枚の用紙に22
 両面18
 両面印刷を逆順で20

印刷ジョブ
 状態 ix
印刷速度
 速くする29
印刷範囲
 全領域21
 両端の余白をそろえる21
印刷ページのレイアウト22
エラーメッセージ ix

か

解像度互換モード23
拡大 / 縮小23
拡大 / 縮小率
 指定23, 31
カスタムサイズ
 印刷16, 30
 印刷方法16
カセット
 各用紙サイズの初期設定11
画像位置調整
 細かく指定19
カラー
 モニタに合わせる27
カラーバランス
 初期設定値に戻す25
 調整27
カラーバランスの調整27
カラーマッチング
 鮮やかさ優先26
 色差最小26
 色味優先26
 カラーマッチングについて26
カラーモード
 指定24
逆順印刷22
給紙トレイ11

給紙方法	
指定	11
自動選択	17
グラフィックスシート	24
言語	
ヘルプ	32
コート紙	
印刷	10

さ

最厚口	
印刷	12
両面印刷	14
サイドペーパーデッキ	
〜から印刷	12, 16
給紙方法	11
仕上げシート	18
シート	
グラフィックス	24
フォント	28
用紙	10
レイアウト	22
自動選択	
給紙方法	17
写真を優先	
選択する場合	27
出力位置を指定	20
状態	
印刷	ix
初期設定	
給紙方法	11
通常使うプリンタを指定	3, 6
元に戻す	11, 20, 23, 25
初期設定値に戻す	11, 20, 23, 25

た

縦方向	
両面印刷での設定	18
タブ	9
タブが付いたダイアログボックス	9
手差しトレイ	
厚紙や特殊紙を給紙	12
トレイを使用	13
特殊紙	
印刷	12
トラブルシューティング	30

は

はがき	12
パスワード	32
フィルム	
印刷	10
フォント	
ATM	31
TrueType	31
使用できる	vi
フォントシート	
サーバーのフォントを使用	
(拡張文字)	29
サーバーのフォントを使用(標準)	28
文字をグラフィックスで印刷する	29
フォントの置き換え	31
複数ページ	
1枚の用紙に印刷	22
部数	
アプリケーションで指定	16
印刷	16
複数ページの文書	31
プリンタウィザード	1
プリンタウィンドウ	
表示	1, 4
プリンタドライバのインストール	1
プリンタ名	3
プロパティシート	9
ページ余白	
設定	20
ヘルプ	
オンラインで読む	viii

ま

メッセージ	
エラー	ix
文字/写真優先	27
文字と写真	
選択する場合	27
文字を優先	
選択する場合	27
モニタに表示される色に合わせる	27
モニタプロファイル	
選択	25

や

用紙	
12 × 18 インチ	12
厚紙	12
特殊紙	12
はがき	12
用紙サイズ	
アプリケーションソフトでの設定	16
使用できる	v
用紙シートで選択	12
用紙シート	10
用紙指定変倍	
自動	16
しない	16
用紙サイズ指定	17
用紙タイプ	
選択	12
用紙の種類	
使用できる	vi
横方向	
両面印刷での設定	18
余白	
印刷設定	20
両面印刷での設定	20

ら

両面印刷	
オプション	18
自動	18
設定	18
手差し	14
手差しトレイから給紙	14
レイアウトシート	22

消耗品のご注文先

販売先

電話番号

担当部門

担当者

サービス担当者連絡先

販売先

電話番号

担当部門

担当者

Canon

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター全国共通電話番号
キヤノンお客様サポートネット

0570-01-9000

音声メッセージに従って該当番号を選択してください。PIXEL の該当番号は **[53]** です。

(該当番号は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。)

受付時間： 9:00 ～ 12:00 13:00 ～ 17:00 (土・日・祝祭日を除く)

全国 63 ケ所の最寄りサービス拠点までの通話料金のみで製品に関するご質問にお電話でお答えします。

尚、携帯電話などをご使用の場合は、043-211-9626 をご利用ください。

東京・大阪・札幌・旭川・帯広・函館・青森・秋田・盛岡・山形・庄内・仙台・福島・郡山・新潟・長岡・長野・松本・前橋・宇都宮・水戸・つくば・千葉・大宮・甲府・立川・横浜・厚木・静岡・沼津・浜松・名古屋・岡崎・岐阜・津・和歌山・福井・金沢・富山・京都・大津・神戸・姫路・岡山・高松・徳島・高知・松山・広島・福山・山口・鳥取・松江・北九州・福岡・久留米・大分・長崎・佐賀・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

キヤノン販売株式会社

〒108-8011 東京都港区三田 3-11-28

The support-service telephone numbers are available for use only within Japan.